

第76回 通常総代会議案書

日時：2017年5月25日(木)午後6時15分～午後8時
(受付 午後5時30分開始)

場所：オリーブスクエア2階 多目的ホール

議題：第1号議案 2016年度事業報告書・決算関係書類承認の件
第2号議案 2017年度事業計画及び予算決定の件
第3号議案 役員報酬決定の件
第4号議案 第54期(2017年度)役員選出の件
第5号議案 議案決議効力発生の件

香川大学生生活協同組合

〒760-0016 高松市幸町1-1

TEL087-835-3120

第1号議案 2016年度事業報告書・決算関係書類等承認の件

【1】2016年度活動のふりかえり

2016年度は下記のテーマを重点課題として取り組みました。

① 組織活動及び運営

基本運営を強化する。「知り・知らせ・考え・話し合う」を基本に

総代選出100%、総代会参加率50%、組合員会議や総代会議開催を行います。

理事会から職員・学生委員会まで、情報の共有化を強めるための諸会議運営を重視します。

組合員参加の食育・安全・安心活動等取り組みを行い、組合員参加の場を広げる

大学教職員や大学との懇談会等を開き、生協の取り組みを知らせ、理解を広げる。

② 事業活動

「学びと成長」「食育」事業を中心に、事業拡大と整理を進めます。

食堂部：ミールカード利用者を増やし組合員の食生活の安定と充実をはかる。

食育活動とその発信を強める

運営整理(日常体制の整備)、安全安心の運営(労務管理含)

ハラル風メニューの提供など、留学生対応を進める。

ショップ：新学期・3店舗・校費・講座など運営を整備し 組合員への広報・提案力を強化

新学期：提案力・広報を強化、住まい事業の強化とサポーターの質量アップ

店舗：提案力と商品展開…パート力、学生参加

受付業務・校費の整備

学 び：受講者の夢実現を大切に、スタッフ・サポーターの力量アップ

キャリア支援事業など強化する

住まい事業：工農医の物件

本 部：内部牽制制度等も含めた業務の整備・確立(法令等遵守)

生協法・宅建等業法・労働法等への対応/大学委託業務等の整理

2016年度振り返り

- ① 大学会館店がリニューアルされて3年目、医学部食堂が生協に移管されて2年目になります。医学部・工学部・農学部のお店で提供できる生協内製商品の種類・量ともに徐々に増えており、組合員へのサービスも向上しています。
- ② 2016年度新学期事業は、住まい紹介とパソコン・ミールカードを中心に据えて、パソコン総合サポート、英語講座、生協ICマネーを提案しました。ミールカード・ICマネーの利用者は増えてきましたが、パソコンは3月下旬に品切れを発生させ、一部の新生生のご注文を断らざるをえない状況となりご迷惑をおかけしました。ミールカードとICマネー利用者増は、生協の資金繰りの改善でも貢献しています。
- ③ ミールカード利用者の増加により、食堂事業及びショップの内製商品利用高は大きく伸ばしました。また学会の懇親会やハラル対応した料理のケータリングなど、コンパの利用も伸ばしています。
- ④ 英語講座のオプション企画として実施したシドニー異文化体験ツアーやシンガポール企業訪問ツアーは、多くの受講生に参加いただいています。
- ⑤ パソコンや書籍を中心とした大学の校費利用は工学部を中心に落ち込みが激しく、厳しい状況が続いています。また正規職員が1名退職した関係で2017年1月より医学部・工学部・農学部は正規職員不在の状況が続いています。

- ⑥ 2年続けての大きな投資の影響で赤字予算を組んでいましたが、食堂の利用高伸長もあり2016年度の当期剰余金は3,080万円、当期末処分損失金も1,181万円まで減らすことができました。
- ⑦ 学生委員会は今年も「新入生の集い」「ケーキバイキング」などの活動を行ってきましたが、新入生の加入がなく日常的な活動が出来ていない状況です。またPC総合サポート講座や英語講座、新入生サポートセンターなどで多くの学生が先輩サポーターとして活躍しています。
- ⑧ 11月から12月にかけて医学部・工学部・農学部で組合員懇談会を実施し、学部生・院生・教職員の方から生協に対する要望や意見をいただきました。
- ⑨ 「育児介護休業規定」「組合員等への情報開示に関する規則」「就業規則」「退職金規定」を整備・作成いたしました。また香川大学と「災害時の相互協力等に関する協定」を結びました。

【2】2016年度決算報告

1. 損益報告

1) 供給高・ポイント還元

総供給高：10億621万円（前年比+3.8%、予算比+4.1%）

食堂全店が伸長し、前年度より3,704万円の供給高増でした。

● ショップ合計 6億4,179万円（前年比△0.1%、予算比+0.5%）

- ・分類別では、食堂の内製商品を中心に食品関係が伸長しました。中でも内製弁当は前年比で20.9%、飲料デザートは5.9%伸長です。

校費利用が多い文具・機器・PCソフト分類は対前年比で△4%～△8%でした。

書籍・講座関係は教科書と校費利用の減少、パソコン総合サポート講座の途中でのキャンセル増加などで前年比△5.5%でした。

旅行分野では、海外旅行(研修パック旅行)が918万円(前年503万円)で大きく伸長しました。

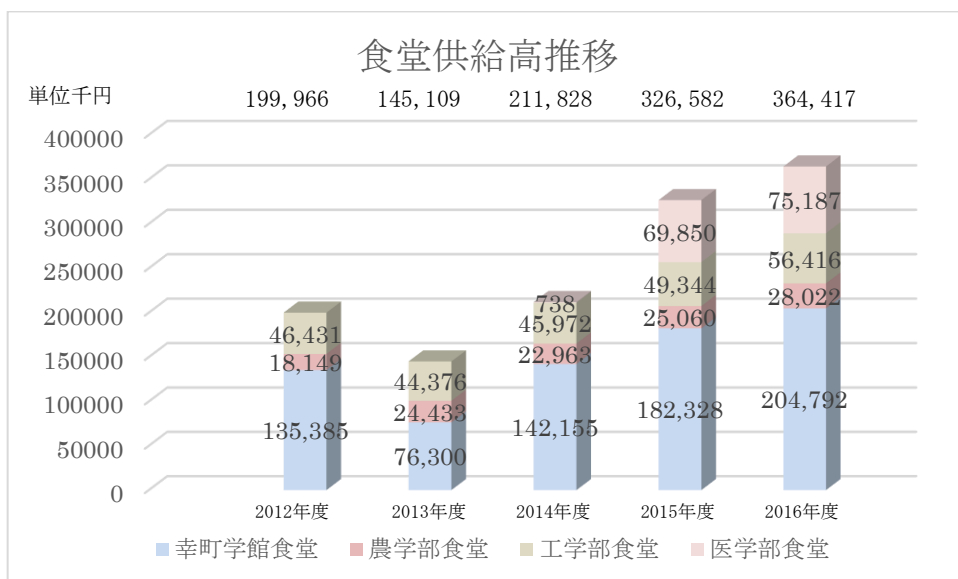
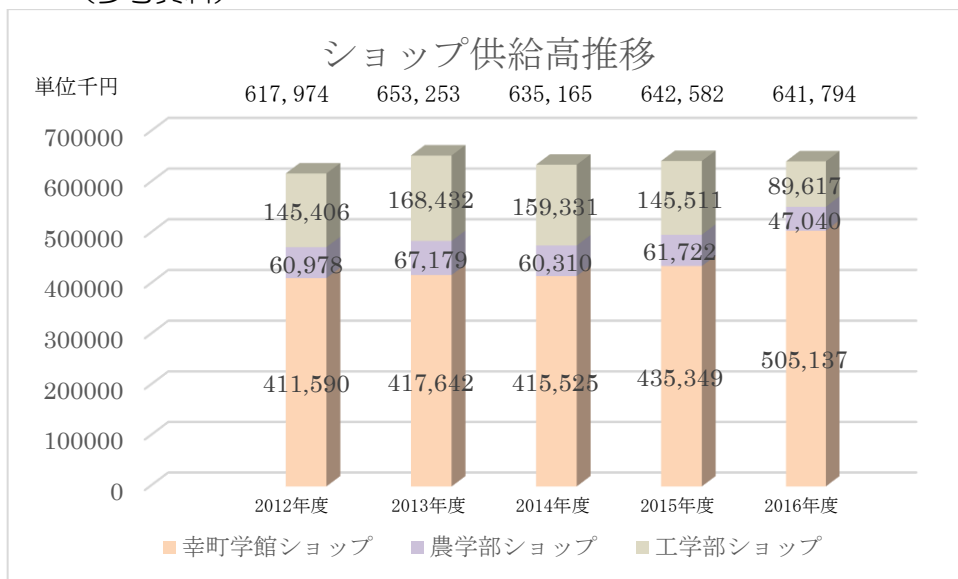
ICマネー利用を強化し、904万円のポイント還元を行いました。

- ・店舗別では、学館ショップ5億514万円(前年比+16%、予算比+15.6%)、農学部ショップ4,704万円(前年比△23.7%、予算比△25.7%)、工学部ショップ8,962万円(前年比△38.4%、予算比△35.3%)でした。入学前に新入生に販売するパソコン等で農学部生と工学部生については昨年まで学部のショップで供給高を計上していましたが、今年度よりすべて学館ショップで計上したため、農工のショップについては大きく前年割れと予算割れを起こすことになりました。

● 食堂部合計 3億6,441万円（前年比+11.6%、予算比+11.2%）

- ・ミールカード利用者が1,774名で前年比で280名増加しました。
- ・分類別では朝食利用サービス開始2年目で朝定・モーニングが前年比17.8%伸長しました。
- ・カフェで提供している焼き立てパンは前年比で19.3%伸長、医学部食堂で提供している配達弁当は21.4%伸長しました。
- ・懇親会やケータリングなどのコンパ分類は1,500万円を超える利用をいただき、前年比で23.9%伸長しました。
- ・ポイント還元271万円を行いました。
- ・店舗別では、学館店(カフェ含む)2億479万円(前年比+12.3%、予算比+10.9%)、農学部店2,802万円(前年比+11.8%、予算比+14.1%)、工学部店5,642万円(前年比+14.3%、予算比+17.1%)、医学部店7,519万円(前年比+7.6%、予算比6.5%)です。

(参考資料)



- 2) **事業総剰余金** 3億7,049万円 (前年比+9.9%、予算比+10.6%)
供給剰余金：3億2,147万円 (前年比+11.2%、予算比+12.8%)
 ・ 食堂の供給伸長で供給剰余率も29.83%から31.95%に伸長しました。
その他手数料収入：4,201万円 (前年比+3.3%)
 住まい事業収入など主に斡旋・手数料関係の収入です。
共済受託手数料収入：701万円 (前年比△2.6%)

- 3) **総経費**：3億3,031万円 (前年比△7.8%、予算比△3.6%)
人件費：1億9,398万円 (前年比0.0%、予算比△5.8%)
物件費：1億3,633万円 (前年比△17.1%、予算比△0.2%)
 減価償却費が対前年で832万円減少しています。また今年度は大きな投資がありませんでしたので、事務消耗品が対前年で1,340万円減少しています。

- 4) **事業剰余金**：4,018万円 (前年△2,150万円、予算△771万円)
 供給高の伸長と経費の減少で、事業剰余金は大きく伸長しています。

5) 事業外損益

事業外収益341万円の内訳は、受取利息5万円、受取配当金3万円、雑収入333万円

雑収入の内訳は、2014年度卒業生出資金未引取分88件139万円、保険関連収入123万円、その他71万円

事業外費用10万円の内訳は、雑損失10万円。

雑損失の内訳は、商品廃棄損0.6万円、供給未収金整理損6万円、その他3.4万円

6) 経常剰余金 4,349万円

7) 特別損益

特別利益444万円の内訳は、前受金ICプリペイド整理益377万円、固定資産修正申告受入額67万円

特別損失334万円の内訳は、固定資産除却損34万円と建物付属設備及び器具備品の減価償却費の一部300万円

8) 税引前当期剰余金 4,459万円

9) 当期剰余金 法人税等275万円、法人税等調整額1,101万円を計上し、結果3,082万円です。

10) 当期末処分損失金：前期首繰越損失金4,261万円に当期剰余金3,082万円を加え、計1,179万円が当期末処分損失金となり、次期に引き継がれます。

(比較損益計算書)

勘定科目	(単位 千円)							
	2016年度実績	2016年度予算	予算比	2015年度実績	前年比	2014年度実績	2013年度実績	2012年度実績
供給高	1,006,212	966,430	4.1%	969,164	3.8%	846,993	798,362	826,836
供給値引	1,247	2,362	-47.2%	19,764	-93.7%	2,368	9,079	8,896
純供給高	1,004,965	964,068	4.2%	949,400	5.9%	844,625	789,282	817,940
供給剰余金	321,468	285,101	12.8%	289,133	11.2%	240,214	205,189	232,309
その他事業収入計	49,023	49,900	-1.8%	47,863	2.4%	47,075	46,067	41,208
事業総剰余	370,491	335,001	10.6%	336,997	9.9%	287,289	251,256	273,517
人件費合計	193,976	206,108	-5.9%	194,083	-0.1%	166,422	144,972	147,878
物件費合計	136,332	136,604	-0.2%	164,412	-17.1%	167,975	104,237	90,060
事業経費合計	330,308	342,712	-3.6%	358,495	-7.9%	334,397	249,209	237,938
事業剰余金	40,183	△ 7,711	-621.1%	△ 21,499	-286.9%	△ 47,109	2,047	35,578
事業外収益	3,411	2,780	22.7%	1,134	200.8%	3,191	3,150	1,699
事業外費用	102	250	-59.2%	1,720	-94.1%	380	8,607	564
経常剰余金	43,492	△ 5,181	-939.5%	△ 22,085	-296.9%	△ 44,297	△ 3,409	36,714
特別損益	1,105	0	#DIV/0!	91	1114.3%	△ 3,603	△ 505	△ 1,267
税引前当期剰余金	44,597	△ 5,181	-960.8%	△ 21,994	-302.8%	△ 47,900	△ 3,914	35,447
法人税等	2,758	800	244.8%	770	258.2%	770	360	6,741
法人税等調整額	11,017	0	#DIV/0!	△ 5,908	-286.5%	△ 3,581	△ 968	31
当期剰余金	30,822	△ 5,981	-615.3%	△ 16,856	-282.9%	△ 45,090	△ 3,307	28,675
当期首繰越剰余金	△ 42,615		#DIV/0!	△ 25,759	65.4%	9,331	12,638	64
当期末処分剰余金	△ 11,793		#DIV/0!	△ 42,615	-72.3%	△ 35,759	9,331	28,739

2. 財務報告（2017年2月28日現在）

- 1) 資産合計は、3億6,753万円で、前年度末より1,149万円増加しました。
 - ・流動資産は、2億2,148万円で、前年度より4,991万円増加しました。
 - ・固定資産は、1億4,604万円で、前年度より3,842万円減少しました。
- 2) 負債合計は、2億6,026万円で前年度末より2,472万円減少しました。
 - ・買掛金は6,477万円で前年度より322万円の増加です。
 - ・マイルカード・ICマネー利用者が増え、前受金が前年度より702万円増加しました。
- 3) 純資産合計は、1億726万円で、前年度末より3,621万円増加しています。
 - ・新入生への要請出資金2万円変更3年目のため、組合員出資金は539万円増加しています。

（比較貸借対照表）

（単位千円）

資産の部	2016年度	構成比	2015年度	構成比	増減	負債・資本の部	2016年度	構成比	2015年度	構成比	増減
（資産の部）						（負債の部）					
流動資産	221,483	60	171,565	48	49,918	流動負債	225,901	61	226,932	64	△ 1,031
現金預金	136,980	37	83,945	24	53,035	買掛金	64,771	18	61,548	17	3,223
供給未収金	27,726	8	26,359	7	1,367	前受金	105,561	29	98,534	28	7,027
商品	31,049	8	31,031	9	18	預り金	29,953	8	34,410	10	△ 4,457
未収金	21,153	6	20,227	6	926	その他流動負債	25,616	7	7,700	2	17,916
その他流動資産	4,575	1	8,855	2	△ 4,280	固定負債	34,360	9	58,053	16	△ 23,693
固定資産	146,045	40	184,469	52	△ 38,424	負債合計	260,262	71	284,985	80	△ 24,723
有形固定資産	61,893	17	85,733	24	△ 23,840	（純資産の部）					
建物及び附属設備	24,318	7	27,940	8	△ 3,622	組合員資本	107,246	29	71,049	20	36,197
車両運搬具	175	0	351	0	△ 176	出資金	119,059	32	113,664	32	5,395
器具備品	37,401	10	57,442	16	△ 20,041	剰余金	△ 11,793	△ 3	△ 42,615	△ 12	30,822
無形固定資産	1,596	0	1,596	0	0	当期末処分剰余金	△ 11,793	△ 3	△ 42,615	△ 12	30,822
その他固定資産	82,555	22	97,141	27	△ 14,586	（うち当期剰余金）	(30,821)		(△16,856)		28,234
資産合計	367,528	100	356,034	100	11,494	純資産合計	107,266	29	71,049	20	36,217
						負債・資本合計	367,528	100	356,034	100	11,494

監査報告書

香川大学生生活協同組合
理事長 寺林 優 殿

私たち監事は、2016年3月1日から2017年2月28日までの理事の職務の執行を監査いたしました。2016年度の財産ならびに業務の執行状況について、監査した結果、次の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、監査基準に準拠して、他の監事と情報の交換を図るほか、理事その他職員と意思疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、貴生協の業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基き、当該事業年度に係る事業報告書及びその付属説明書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- 1) 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な行為は認められません。

(2) 決算関係書類（損失処理案を除く）及びその付属明細書の監査結果

決算関係書類(損失処理案を除く)及びその付属明細書は、組合の財産及び損益の状況を重要な点において適正に表示していると認めます。

(3) 損失処理案の監査結果

損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2017年4月24日

香川大学生生活協同組合

監事 堤 英敬

監事 齊藤 和也

監事 宮下 真来枝

監事 田畑 諒

第2号議案 2017年度事業活動計画及び予算決定の件

【1】2017年度事業活動方針

●生協をめぐる環境

- 社会・経済 選挙権年齢が18歳以上に引下げられました。
消費税増税が2019年10月に再延期されましたが、実質消費支出は3年連続で前年比減です。
- 大学環境 国立大学は法人化から14年目を迎え、第3次中期目標期間です。
クォーター制やグローバル人材育成など、様々な変化、施策が進んでいますが、経常的な予算は減少の一途をたどり、大学の「自主努力」が迫られる事態となっています。
私立大44校が入学定員増の申請（7,354名）をし、全て認可されました。都市部大規模私立大学への寡占化、地方国立大学への入学者減が懸念されます。
- 大学生 奨学金を受給している学生の割合は33.5%（自宅生27.3%・下宿生37.5%）で、受給金額は貸与型で56,910円、給付型で57,900円となっています。また仕送り0円の学生の割合は8.0%です。（第52回学生生活実態調査より：2016年10月～11月実施、回収数10,155名）
- 生協事業： 農学部食堂の老朽化、医学部キャンパスの学生定員増など、店舗施設への投資が可能な経営構造にする必要があります。

●2017年度の重点課題

組織活動及び運営

学生委員会、総代、新学期サポーター、PC講座スタッフ、英語講座スタッフ、オリジナルグッズ開発に関わってくれる学生、食育に関心のあるミールカード利用者等、生協に関わっている学生の交流を開始し、既存活動の共有・共同・協力、新規活動の共同実施等の検討を始めます。あわせて年間を通して全員が新入生のサポートを行えるよう活動の場を拡げていきます。

組合員懇談会を教育学部・法学部・経済学部で実施し、いただいた意見を大学とも共有し利用環境の改善を目指します。

- 事業活動 食：ミールカードを中心に、学生の食事環境の充実、キャンパス間のサービス内容の格差縮小、食育活動を推進していきます。
- 学：4年間トータルでの学生組合員の学びと成長を考えていきます。
- 住：4(6)年間24時間サポートできる体制と環境作りを進めていきます。

●課題別方針

①（施設）

農学部食堂の改修工事が決定した場合、厨房側の設備工事まで生協が負担する可能性と大学備品を再設置した際に稼働しなくなる可能性も想定して3,000～5,000万円の投資をして厨房の改装を実施します。（予算化はしていません）

医学部の新学科設置に伴う定員増に対応するため、食堂の席数増加に向けて医学部との打合せを開始いたします。

②（大学）

大学と共同でオリジナルグッズの開発を行います。飲食物に関しては、大学生協の食品添加物使用基準に添って開発を行います。

③ (新規事業)

2回生を対象に平成30年度から社会体験事業を実施するための事業計画を作成します。

- 一般常識やマナー研修、民間企業の面接対策
- 公務員試験の2次試験対策にもなりうる内容
- バレンシア国際カレッジプログラムに参加できる学生の育成
- 県内企業へのインターンシップや就職につながる取組
- 大学の関係部署との協力

あわせてSEQやポートフォリオ、生協アルバイト、サポーター活動などを活用して4年間で体系立てて学生が成長するための仕組みを検討いたします。

④ (住まい)

管理物件を100室増やすための取組を行います。

生協管理物件を希望される新入生や保護者の方に対し、後期入試で合格された方に十分対応できるだけの部屋数を用意できていません。次年度新学期に間に合うよう、早めに取組めます。

⑤ (生活安心サポート)

生活安心サポートを始めてから4年が経過しましたが、単独での損益状況が分からない状況です。内容及び対応状況の蓄積と、執行した経費の管理を開始します。

⑥ (生協職員)

正規職員は全員が2017年度中に取得する資格の目標を決めて、担当分野のスペシャリストを目指します。1年後(2018年度)に正規職員を2名採用する計画をしています。正規職員増により医工農学部キャンパスの体制強化と「住まい」「学び」「食育」事業を中心としたトータルサポートを目指します。

【2】2017年度予算案

1. 総供給高予算は、前年比+3.7%の10億4,344万円です。

- ショップは6億6,456万円で、前年比+3.5%

工学部ショップは校費利用の減少もあり、前年比△2.5%で予算化しています。

- 食堂は3億7,888万円で、前年比+4.0%
ミールカード利用者の増加もあり、引き続き伸長予算を組んでいます。

2. 供給剰余・その他事業収入は、前年比△1.7%の3億6,416万円です。

- 供給剰余は、新入生向けパソコンの供給剰余率減もあり、前年比△2.6%で予算化しています。

- その他事業収入は、管理物件の増加を見込んで、前年比+6.4%で予算化しています。

3. 総経費は、前年比+5.0%の3億4,682万円です。

- 人件費はパート職員数の増加もあり、前年比+4.5%の2億274万円です。

- 物件費は事業連合委託費の増加もあり、前年比+1.6%の1億1,134万円です。

4. 事業剰余は、前年比△44.4%の1,897万円です。

5. 経常剰余は、前年比△55.8%の1,924万円です。

勘定科目	2016年度実績	2017年度予算	予 算 比
供給高	1,006,212	1,043,441	3.7%
供給値引	1,247	4,078	227.0%
純供給高	1,004,965	1,039,363	3.4%
供給剰余金	321,468	313,098	-2.6%
その他事業手数料収入	42,011	44,020	4.8%
共済受託手数料収入	7,012	7,050	0.5%
その他事業収入計	49,023	51,070	4.2%
事業総剰余	370,491	364,168	-1.7%
役員報酬	8,024	8,240	2.7%
職員給与	43,639	37,296	-14.5%
定時職員給与	126,063	134,616	6.8%
退職給付費用	3,869	4,032	4.2%
法定福利費	11,626	12,001	3.2%
福利厚生費	1,039	3,320	219.5%
役員退職給与引当金繰入損	516	688	33.3%
賞与引当金繰入額	△800	2,550	-418.8%
人件費合計	193,976	202,743	4.5%
教育文化費	533	1,047	96.4%
広報費	10,071	10,363	2.9%
事務消耗品費	14,494	13,455	-7.2%
物流費	2,167	3,500	61.5%
車輜運搬費	2,477	2,178	-12.1%
貸倒引当金繰入額	4	0	-100.0%
ポイント引当金繰入	0	0	#DIV/0!
施設維持管理費	5,965	5,948	-0.3%
減価償却費	21,635	18,920	-12.5%
賃借料	1,029	1,051	2.1%
水道光熱費	21,043	22,641	7.6%
保険料	913	1,407	54.1%
委託料	10,316	12,497	21.1%
採用費	772	530	-31.3%
調査研究費	374	270	-27.8%
会議費	2,058	2,169	5.4%
諸会費	3,106	3,302	6.3%
渉外費	56	0	-100.0%
租税公課	704	145	-79.4%
通信交通費	6,348	6,389	0.6%
雑費	5,559	5,535	-0.4%
事業連合委託費	26,708	32,731	22.6%
物件費合計	136,332	144,078	5.7%
事業経費合計	330,308	346,821	5.0%
事業剰余金	40,183	17,347	-56.8%
受取利息	45	0	-100.0%
受取配当金	33	30	-9.1%
雑収入	3,333	1,867	-44.0%
事業外収益	3,411	1,897	-44.4%
支払利息	0	0	#DIV/0!
雑損失	102	0	-100.0%
事業外費用	102	0	-100.0%
経常剰余金	43,492	19,244	-55.8%
特別利益	4,448	0	-100.0%
特別損失	3,343	0	-100.0%
特別損益	1,105	0	-100.0%
税引前当期剰余金	44,597	19,244	-56.8%
法人税等	2,758	800	-71.0%
法人税等調整額	11,017	0	-100.0%
当期剰余金	30,822	18,444	-40.2%
当期首繰越剰余金	△42,615		-100.0%
当期末処分剰余金	△11,793		-100.0%

第3号議案

役員報酬決定の件

1、 役員の年間報酬については、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則に基づいて支給すること、及び各役員の報酬額、支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

- (1) 理事の報酬 総額 1,000万円
- (2) 監事の報酬 総額 50万円

第4号議案

第54期（2017年度）役員選出の件

定款第18条・第19条及び役員選挙規約に基づいて役員選挙を行います。
理事・監事とも定数内のため、信任投票を行います。

役員定数 理事：12人以上、17人以内
監事：2人以上、4人以内

役員区	氏名	所属等	
教職員理事	奥田 延之	農学部教員	新任：元理事
	松井 剛太	教育学部教員	新任
	辻上 佳輝	法学部教員	継続
	井上 貴照	経済学部教員	継続
	藤井 豊	医学部教員	継続
	宮本 慎宏	工学部教員	継続
	望岡 亮介	農学部教員	継続
学生理事	井内 敬	教育学部3年	新任
	宮内 知代	教育学部2年	新任
	後藤田 真緒	教育学部2年	新任
	藏戸 史佳	法学部2年	新任
	山本 晴紀	経済学部3年	継続
	久門 岳弘	工学部3年	継続
	熊淵 巧大	農学部3年	新任
	小原 優理	農学部1年	新任
員外理事	大木 積	生協職員	継続
役員区	氏名	所属等	
教職員監事	溝淵 彰	法学部教員	新任
	斎藤 和也	経済学部教員	継続
	宮下 真来枝	大学職員	継続
学生監事	酒井 善紀	医学部5年	新任：元理事

第5号議案

議案効力発生の特

行政官庁等の指示により一部字句の修正を必要とする場合は、決議の趣旨を誤らない範囲において、理事会に一任します。

【提案理由】

法務局、監督官庁等へ総代会報告を提出するにあたり、字句を修正する必要がある場合に備え、今後総代会の決議の趣旨に反しない範囲で、理事会の責任において対処することを定めようとするものです。